

- ・役員改選・他
平成18年6月13日
- ・平成18年度通常総会資料・他

委員会活動報告

1. 運営委員会 2回(継続)
平成18年2月10日～5月12日
 - ・平成17年4月から平成18年3月までの4工法施工実績表の作成、発刊
 - ・協会ニュースの審議
 - ・ホームページの審議
 - ・リーダ式ケーシング回転掘削工法日歩掛りの審議
 - ・工法施工機械技術資料改訂の審議
 - ・総会の開催、運営
 - ・予算の審議
2. リーダ式ケーシング回転掘削工法日歩掛り分科会 2回(継続)
平成18年2月10日～5月12日
 - ・リーダ式ケーシング回転掘削工法日歩掛りの審議
3. 協会ニュース分科会 1回
平成18年5月12日
 - ・協会ニュース編集計画決定
 - ・協会ニュース執筆担当者決定
4. ホームページ分科会 2回(継続)
平成18年2月10日～5月12日
 - ・内容の審議
 - ・ホームページ改訂箇所の報告
5. 工法・施工機械技術資料改訂分科会 1回(継続)
平成18年5月12日
 - ・工法・施工機械技術資料改訂の審議

6. (社)日本建設機械化協会技術委員会参加 4回(継続)
平成18年1月25日～5月17日
 - ・大口径岩盤削孔工法の積算平成18年度版改訂審議

成果品

平成17年4月から平成18年3月までの4工法施工実績表の発刊
(平成18年6月13日)

広報活動

1. 協会ニュース 1回 第22号
2. ホームページの改訂
 - ・平成18年3月27日



総会 会場風景

工法・新製品紹介

障害撤去用ハンマーグラブ

●はじめに

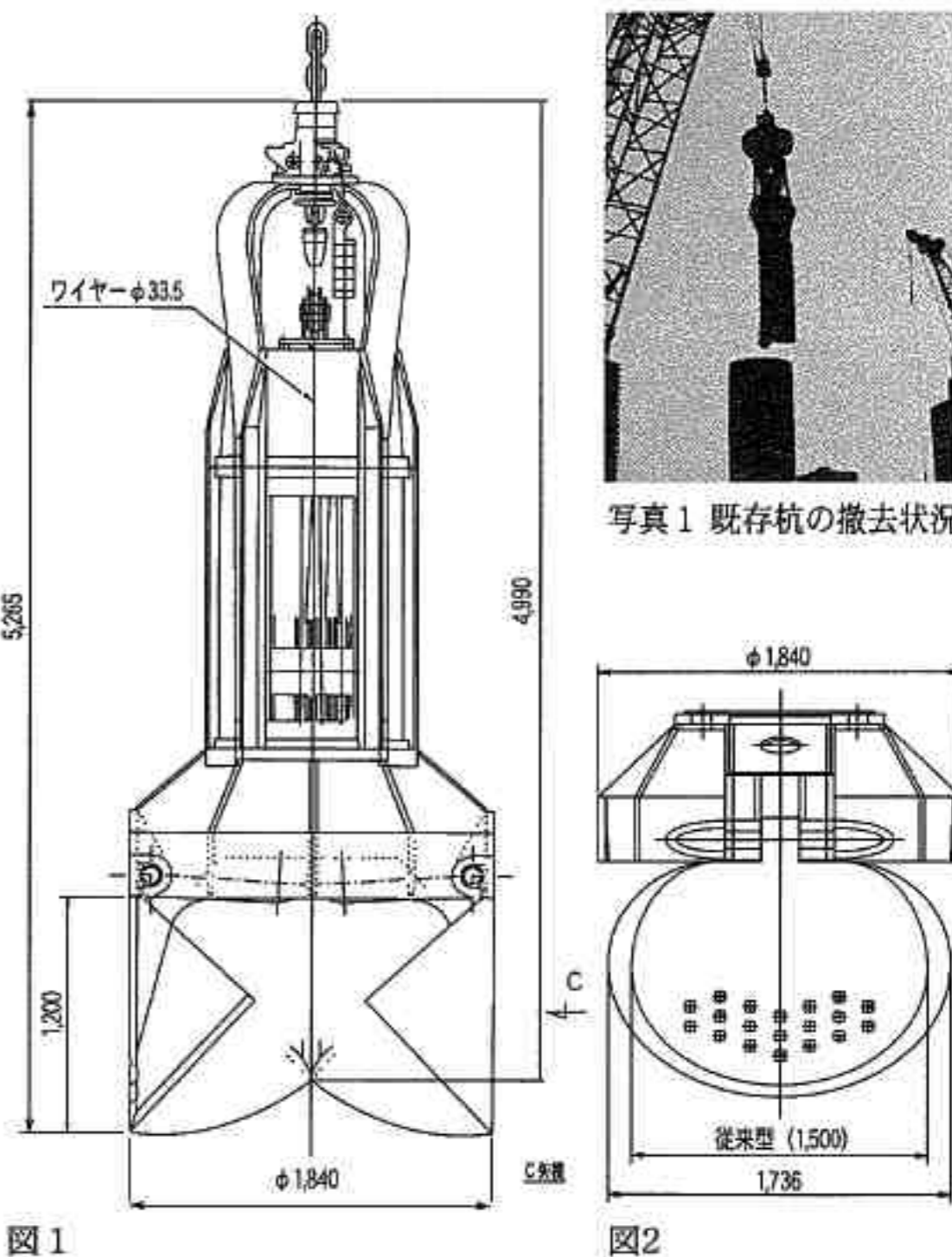
現在、関東地方を中心に既存杭などの障害撤去の仕事が非常に多く、基礎の業界は障害撤去なしには語れないと言っても過言ではありません。

その仕事に対応するために、油圧などの動力を使った工法は様々なものが開発されているのも周知の事実です。そのなかで、何とか動力を使わないで従来のワイヤーによる吊上げで対処できないかと、ハンマーグラブ自体に工夫と改良を加えたものが今回紹介させていただく障害撤去用ハンマーグラブです。

●障害撤去用ハンマーグラブの特長

- ①大きな掴み容量(従来の約1.5倍)
シェルの長さや幅を長くする事により、掴み容量を大幅にアップしました。
- ②ケーシングに密着したシェルの構造
従来の楕円形から杭の形状に合わせた真円に近い形状に変更。
- ③シェルの掴み力の向上
シェルのアームの部分長くする事でテコの原理によるシェルの閉じる力をアップ。
- ④使用方法に合った形状を選べます
掴む障害の形状などによって爪先の形状や取付け方法を選べます。また取替えも容易にできます。
- ⑤掘削時間の大幅な短縮
掘削容量と掴み力のアップにより工期の短縮が図れます。
- ⑥従来のハンマーグラブとの互換性に優れている
ハンマーグラブ本体は従来のものが使う事ができ、シェルアッセンのみを障害用に取り替えるだけで障害撤去用ハンマーグラブとして使用できます。

図1、図2 φ2000用シェルアッセン見取り図
写真1 既存杭の撤去状況



新製品

SK-15S型1500φ用
SK-20S型2000φ用

| | SK-20S | 従来のハンマー |
|------|-------------------|-------------------|
| 掴み容量 | 1.0m ³ | 0.7m ³ |